

小学 1 年 国語 本はともだち 「むかしばなしを よもう」

ねらい

- ・様々な昔話の本を手に取り、読書に親しむことができる。
- ・物語を読んで、内容や感想などを伝える文を書いたり、紹介された本を読んだりすることができる。

学習展開（8 時間）

- ① 学習のゴール「友だちにお気に入りの本をしょうかいしよう」を知り、学習の見通しをもつ。
- ② 味見読書をして、紹介したい本を決める。
- ③ 紹介メモを書く。
- ④ 紹介メモをもとに、読みたい本を選び、本を読んだ感想を書く。
- ⑤ おはなしの木に感想を貼る。

指導のポイント

- ・味見読書を行うことで、自分が好きな本を選ぶ手掛かりとなるようにした。
- ・今まで知らなかった本も手に取れるように、味見読書をしたり、友達が紹介した本を窓に掲示したりする。
- ・本を紹介されたときには、紹介してくれた人の心に残ったところや面白いところをわかった上で、自分の感想が書けるように声をかける。
- ・本を読むだけではなく、どんな本を選んだのかアウトプットさせる場を作る。



学校図書館との関わり

- ・味見読書の活動を取り入れ、子ども達が興味のある本や知っているお話の本を選ぶことができるような手助けをする。
- ・読書が苦手な児童も本を選べるように、1年生の発達段階に応じ、本を読んであげるなど工夫をする。
- ・紹介する本が決まらない児童への支援。